2024年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名	ランサーズ株式会社	上場取引所	東
コード番号	4484	URL	https://www.lancers.co.jp
代表者	(役職名)代表取締役社長 CEO	(氏名)秋好　陽介	
問合せ先責任者	(役職名)執行役員　経営企画・IR担当	(氏名)多胡　あき乃	(TEL)03(5774)6086
四半期報告書提出予定日	2023年11月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有　（　機関投資家、証券アナリスト向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2024年３月期第２四半期の連結業績（2023年４月１日～2023年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年３月期第２四半期	2,211	△1.4	△2	―	△1	―	△11	―
2023年３月期第２四半期	2,242	11.8	△245	―	△242	―	△248	―

(注)　包括利益 2024年３月期第２四半期　△11百万円(　―%) 2023年３月期第２四半期　△248百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年３月期第２四半期	△0.74	―
2023年３月期第２四半期	△15.77	―

(注)　潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年３月期第２四半期	2,915	959	32.9
2023年３月期	3,073	957	31.1

(参考) 自己資本 2024年３月期第２四半期　958百万円　2023年３月期　957百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2024年３月期	―	0.00			
2024年３月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2024年３月期の連結業績予想（2023年４月１日～2024年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	流通総額		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,567	1.9	4,812	0.1	40	―	40	―	38	―	2.42

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　：有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　—社（社名）　、除外　１社（社名）ランサーズエージェンシー株式会社

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

②　①以外の会計方針の変更　：無

③　会計上の見積りの変更　：無

④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年３月期２Ｑ	15,859,128株	2023年３月期	15,783,503株
②　期末自己株式数	2024年３月期２Ｑ	37株	2023年３月期	37株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2024年３月期２Ｑ	15,839,378株	2023年３月期２Ｑ	15,751,728株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。

　また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料Ｐ．３「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……………………………………………………………………2
（１）経営成績に関する説明 ………………………………………………………………………………2
（２）財政状態に関する説明 ………………………………………………………………………………3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …………………………………………………3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等 ………………………………………………………………3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ……………………………………………………………………5
（１）四半期連結貸借対照表 ………………………………………………………………………………5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …………………………………………7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……………………………………………………………9
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……………………………………………………………10
（継続企業の前提に関する注記） ………………………………………………………………………10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ………………………………………………10
（セグメント情報等） ……………………………………………………………………………………10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、経済活動の正常化が進み、景気回復の兆しがみられた一方で、資源価格の上昇や物価高により金融市場の見通しは未だ先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大きく変容しました。2023年１月に当社グループが実施した「働き方調査2023」（注）によると、フリーランスの約４割、副業者の約６割が2020年以降に活動を開始しており、新型コロナウイルス感染症の流行が働き方に変化をもたらしたと言えます。また、収益を得ることのみならず、スキルアップといった自己実現を目的にそのような働き方を選択する人材が増えていることも特徴的です。一方、経済活動の再開に伴い企業側の人手不足の問題もより深刻化しております。特に2030年にはデジタル人材が最大79万人不足すると言われており、日本政府はデジタル人材の育成に投資することを表明しております。そうした状況下で、デジタルスキルを習得したフリーランスや副業人材の活躍がより一層期待されるとともに、企業側の外部人材の受け入れや多様な働き方ニーズへの対応が進み、人材の流動性が増していくことが予測されます。また「働き方調査2023」によれば、フリーランスや副業人材の案件獲得方法として当社のようなプラットフォームを利用しての獲得が半数を占め、獲得や依頼におけるオンライン化が進行していることが窺えます。それらは人材の流動性を加速させる後押しとなっており、今後更なる市場拡大が見込まれることと想定しております。

当社グループはこのような環境において「個のエンパワーメント」をミッション、「すべてのビジネスを『ランサーの力』で前進させる」、「誰もが自分らしく才能を発揮し、『誰かのプロ』になれる社会をつくる」をビジョンとして、マッチングプラットフォームを通じた双方への価値提供を強化してまいりました。オンライン上でクライアント（企業）とランサー（個人）を直接マッチングするサービスである「Lancers」、クライアントのエンジニア・デザイナー・マーケター等の求人ニーズに対応して、エージェントを介してフリーランス人材を紹介するサービスである「Lancers Agent」と、同様の形でコンサルタントを紹介する「Professionals On Demand」を当社グループの主力サービスに位置付け、事業を拡大しております。

当第２四半期連結会計期間においては、規律ある投資や生産性向上施策に継続して取り組むなかで、51,603千円の営業黒字を達成し、通期営業黒字に向けても計画通りに進捗しております。事業については、組織体制を強化することで１人当たり売上総利益は増加し、併せて販管費の継続的な見直しにより、収益性を大きく改善しております。今後は多数のプロダクトアップデートを通じてユーザー体験を大きく改善することで利用ユーザー数の拡大を図ってまいります。

さらに来期以降の成長性・収益性の拡大実現に向け、子会社である株式会社ワークスタイルラボを中心とした構造改革を推進しております。サービス間の連携を一層強化し、当社グループ全体の経営資源効率化を図るべく、株式会社ワークスタイルラボを当社へ吸収合併いたします。吸収合併に伴い業務再編を行うなかで、システム機能を統合し、さらに人員削減等の合理化を実施いたします。また、一連の構造改革に伴い発生した余剰費用をセールスやマーケティング等の成長投資に振り向けることで、事業成長の加速を図ってまいります。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は2,211,401千円（前年同期比1.4％減）となり、営業損失は2,597千円（前年同期は営業損失245,811千円）、経常損失は1,742千円（前年同期は経常損失242,796千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は11,666千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失248,383千円）となりました。

なお、当社グループはプラットフォーム事業の単一セグメントのため、セグメントごとの記載はしておりません。

（注）「働き方調査2023」は、当社グループが「Lancers」にランサー（受注者）として登録している個人（フリーランス）を対象に、2023年１月30日～２月５日までの期間に実施した調査であり、209名からの回答を得てまとめたものです。

（２）財政状態に関する説明

財政状態の分析

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末と比較して158,328千円減少し、2,915,190千円となりました。これは主に、流動資産において売掛金が132,773千円、無形固定資産においてソフトウエアが45,784千円、のれんが24,020千円減少したこと等によるものです。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末と比較して160,072千円減少し、1,956,050千円となりました。これは主に、流動負債において未払金が73,216千円、買掛金が66,088千円減少したこと等によるものです。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して1,744千円増加し、959,140千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が11,666千円減少したものの、譲渡制限付株式報酬としての新株式発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,953千円、また、新株予約権行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,752千円増加したことによるものです。

キャッシュ・フローの分析

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べ48,832千円増加し、1,397,612千円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、112,469千円の収入（前年同期は258,870千円の支出）となりました。これは主に、売上債権の減少額が132,773千円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、51,050千円の支出（前年同期は247,388千円の支出）となりました。これは主に、ソフトウエア開発などにかかる投資支出が51,250千円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、12,586千円の支出（前年同期は325,020千円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出20,090千円があったこと等によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年３月期の連結業績予想につきましては、2023年５月12日に公表した内容から変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、当第２四半期連結累計期間においても営業損失を計上していることから、現時点において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。しかしながら、当第２四半期（2023年７月～2023年９月）においては営業利益を計上し、今期においては通期黒字化の予定で順調に進捗しております。さらに、以下に示す改善策を実施していることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

①事業の選択と集中

当社グループの事業ポートフォリオの見直しを行っております。具体的には、前連結会計年度においてはマネージドサービス事業の完全撤退をすることで当社グループの収益性を改善し、さらに2022年６月には株式会社ワークスタイルラボを子会社化することで当社グループの競争力を強化いたしました。また当社グループでは、主要サービスである「Lancers」、「Lancers Agent」、及び「Professionals on demand」をマッチング事業に集約し、成長性・収益性の高いマッチング事業への投資に集中することで成長角度を上げていきます。

②マッチング事業の収益性の改善

前連結会計年度においては、より規律ある投資を推進いたしました。具体的には、費用対効果の高い施策への集中やテイクレート改善、付加価値の高い領域への職種拡大、営業活動の効率化等、売上総利益の拡大を推進するとともに収益性の改善も進めております。さらに、2023年４月に主要サービス「Lancers Agent」を運営するランサーズエージェンシー株式会社を吸収合併し、経営効率・事業効率の改善を図っております。今後もマーケティング・営業組織の強化を図り成長を加速させるとともに経営資源の効率化による収益性改善にも着手してまいります。

③販管費の更なる適正化

当社グループは、事業拡大のための先行投資が続いたことにより、販管費が増加しております。このような状況を鑑み、当社グループでは、前連結会計年度においてすべての販管費の見直しを行い、適正なコストコントロールができる状態に改善をしております。今後も生産性高く事業運営ができるようプロセス及び組織の整備を進めております。

④資金の確保

当社グループは、主要取引銀行との当座貸越契約及び貸出コミットメント契約を従来より締結することで、安定的な資金調達枠を確保しております。その結果、総額1,210,000千円の資金調達枠を確保しており、当社グループの事業運営資金について充分な水準を維持することが可能となっております。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,295,573	1,349,293
売掛金	532,585	399,811
仕掛品	1	5,048
前払費用	45,315	31,918
未収入金	297,158	275,331
その他	69,592	48,555
貸倒引当金	△24,068	△21,635
流動資産合計	2,216,157	2,088,324
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,596	4,457
工具、器具及び備品（純額）	837	568
有形固定資産合計	6,433	5,026
無形固定資産		
ソフトウエア	395,893	350,108
ソフトウエア仮勘定	3,096	44,497
のれん	406,936	382,916
その他	401	378
無形固定資産合計	806,328	777,901
投資その他の資産		
敷金及び保証金	36,929	36,143
繰延税金資産	7,668	7,794
その他	0	0
投資その他の資産合計	44,598	43,938
固定資産合計	857,360	826,866
資産合計	3,073,518	2,915,190

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2023年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,912	279,823
1年内返済予定の長期借入金	55,290	67,080
未払金	374,994	301,778
未払費用	117,242	132,558
未払法人税等	4,349	2,265
未払消費税等	27,600	35,259
預り金	736,694	734,102
賞与引当金	79,488	63,905
役員賞与引当金	―	2,174
その他	13,780	9,210
流動負債合計	1,755,352	1,628,160
固定負債		
長期借入金	359,770	327,890
長期未払金	1,000	―
固定負債合計	360,770	327,890
負債合計	2,116,122	1,956,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	63,569	70,275
資本剰余金	1,782,753	1,789,458
利益剰余金	△889,215	△900,882
自己株式	△36	△36
株主資本合計	957,070	958,815
新株予約権	325	325
純資産合計	957,395	959,140
負債純資産合計	3,073,518	2,915,190

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年９月30日）
売上高	2,242,301	2,211,401
売上原価	1,186,600	1,115,197
売上総利益	1,055,700	1,096,204
販売費及び一般管理費	1,301,511	1,098,802
営業損失（△）	△245,811	△2,597
営業外収益		
営業債務消滅益	2,617	1,653
助成金収入	570	1,250
受取手数料	780	―
その他	592	574
営業外収益合計	4,559	3,478
営業外費用		
支払利息	1,403	2,222
その他	140	400
営業外費用合計	1,544	2,623
経常損失（△）	△242,796	△1,742
特別損失		
構造改革費用	―	8,724
特別損失合計	―	8,724
税金等調整前四半期純損失（△）	△242,796	△10,467
法人税、住民税及び事業税	△6,827	1,325
法人税等調整額	12,414	△126
法人税等合計	5,586	1,199
四半期純損失（△）	△248,383	△11,666
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△248,383	△11,666

四半期連結包括利益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年９月30日）
四半期純損失（△）	△248,383	△11,666
四半期包括利益	△248,383	△11,666
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△248,383	△11,666

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2022年４月１日 至　2022年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2023年４月１日 至　2023年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失（△）	△242,796	△10,467
減価償却費	29,931	51,033
減損損失	―	3,524
のれん償却額	19,356	24,020
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△19,294	△2,433
受取利息及び受取配当金	△5	△4
支払利息	1,403	2,222
売上債権の増減額（△は増加）	149,384	132,773
前払費用の増減額（△は増加）	12,378	19,304
未収入金の増減額（△は増加）	7,610	21,827
買掛金の増減額（△は減少）	△66,058	△66,088
未払金の増減額（△は減少）	△81,415	△71,777
未払費用の増減額（△は減少）	△40,983	15,316
未払消費税等の増減額（△は減少）	15,240	7,659
預り金の増減額（△は減少）	△62,017	△2,591
賞与引当金の増減額（△は減少）	22,526	△15,582
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	3,337	2,174
その他の資産の増減額（△は増加）	492	△3,112
その他の負債の増減額（△は減少）	2,110	△5,509
小計	△248,797	102,288
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△1,403	△2,222
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△8,674	12,398
営業活動によるキャッシュ・フロー	△258,870	112,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
無形固定資産の取得による支出	△87,814	△51,250
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△159,479	―
その他	△95	200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,388	△51,050
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	330,000	―
長期借入金の返済による支出	△4,980	△20,090
新株予約権の行使による株式の発行による収入	―	7,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	325,020	△12,586
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△181,238	48,832
現金及び現金同等物の期首残高	1,654,274	1,348,779
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,473,035	1,397,612

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。